

平成31年度 橋処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会
第36回 議事録（要約）

日 時 令和元年9月13日（金） 18時30分 ～ 20時00分

場 所 橋リサイクルコミュニティセンター 2階会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 協議会委員の変更について

【概要】

事務局から、行政委員、市民委員の変更について報告され、了承されました。

(2) 橋処理センター整備事業に関する住民説明会について

【概要】

10月4、5日に川崎市民プラザで開催される住民説明会の資料説明を事務局より行いました。住民説明会では、主に工事概要、工事進行状況、今後の工事計画、環境対策、建設する施設の概要、完成後のイメージ、建物の色の決定方法、市民プラザ暫定駐車場についての説明を行います。

【発言要約】

会 長： 御質問、御意見ありますか。

市民委員： 処理施設自体はミックスペーパーと生ごみの処理と考えてよろしいですか。生ごみにビニールが入っていたら燃やして処理するのでしょうか。

事務局： 収集車で回収されたものは、そのままの状態でごみピットに置いて、焼却します。

市民委員： ミックスペーパーの資源化処理は具体的にどのようなことをするのか教えてください。

事務局： ミックスペーパーとして収集した物をコンベアに乗せ、袋を除去し、圧縮して四角い形の成形品にして、資源化できる形にするまでが今回の施設の役割になります。

市民委員： その後は製紙工場等で溶かして、再度、紙にするのですか。

事務局： はい、そうです。リサイクルします。

市民委員： 圧縮した成形品を運び出すのですか。

事務局： はい、そうです。

市民委員： 運び出すときはトラックにそのまま積み込むのですか。どういう積み方をするのですか。

事務局： 圧縮した成形品を針金で止めて、積み込みます。

市民委員： 飛散しないように対応はしているのですか。

事務局： はい、圧縮して強固な成形品となります。

市民委員： ミックスペーパーは建物の中から飛散することはないですか。

事務局： 収集車が入ると建物出入口に設置されているシャッターが閉り、閉まった状態で収集車から荷を下ろします。収集車が建物から出る時も、車が出たらシャッターが閉まります。閉まった状態で処理工程が進みます。成形品も建物の中でシャッターが閉まった状態で、ウイング車に積み込みます。シャッターは何か所かありますが、すべてが同時に開くような設計にはしてないので、風が吹き抜けるような事はありません。

市民委員： 塊から運ぶ時に飛散する恐れがあるのではないですか。細かいシュレッダーをかけたようなものが飛散するのではないですか。

事務局： 成形品を運搬するのはウイング車という箱になった車両で運ぶため大丈夫です。

市民委員： 搬入の際はどうか。集めた紙を運ぶ車自体は完全に密閉して入りますか。

事務局： 入れる時も同様になっております。

市民委員： 搬入の際はウイング車ですか。

事務局： パッカー車です。

市民委員： 持ち込みはありますか。

事務局： 基本的には持ち込みは受け付けていません。

市民委員： 現在、持ち込みはどこで受けているのですか。

事務局： 民間業者で集めています。

会長： 現在のミックスペーパーはどこで受け入れをしていますか。

事務局： 浮島処理センターです。

会長： 浮島処理センターと同じ方法を考えていますか。

事務局： 基本的には浮島処理センターと似た設備になります。最初にホッパーでごみを受け、コンベアで移動して袋を破きます。そのあとに手選別をして、圧縮梱包機で押さえつけて、出てきた成形品をフォークリフトのようなものでトラックに積みます。

市民委員： 圧縮機はどれくらい音がしますか。

事務局： 油圧式の機械を想定しており、唸るような、油圧で押す音になります。

市民委員： 振動はしますか。

事務局： 浮島処理センターでは、振動を大きく感じるものではありませんでした。最後に針金で巻きますので針金を切る音がします。

市民委員： 浮島処理センターを見学しましたが、ベルトコンベアに流れてくるものを、マスクをして手選別をする際の安全性が荒いように感じます。その作業の対策を新しい取り組みとしてやっていただきたいと思います。大変な作業のため環境対策の一部として取り組んで、公表してほしいです。浮島処理センターでも改善していくべきと考えますが、橘処理センターを主にさせていただければと思います。

- 事務局： 手選別の前段で、破袋機で袋を破った際に粉じんが多く発生するので、その構造を密閉した中で、破袋機から出てくる前に集じんを行います。また、手選別室の作業環境をより良くする検討をしています。
- 市民委員： そのような新しい取り組みを、市民の皆さんにお伝えいただき、環境を変えていくという姿勢を検討協議会で一緒にやっていることを示していければと思います。
- 市民委員： 発電設備に関してですが、千葉の方で問題になっている停電のことがあるので、工場自体は自家発電で動きますか。
- 事務局： ブラックアウトスタートと言いまして、停電した状態から、焼却炉を運転できません。
- 市民委員： 橘処理センターは市民プラザを含めて、広域避難場所になっています。電気がないという状況だと、避難者が携帯の充電もできなくなってしまいます。市民プラザに供給するのは蒸気しかないとのことですが、電気はどうなるのでしょうか。
- 事務局： 市民プラザに関しては、現行法令上、電気を送ることができないということを経前の検討協議会で話をさせていただいたと思います。ケーブルをつなげば電気を送ることができる計画までで止まっています。
- 市民委員： 市民プラザ側が電気を受けることができなくても、災害時に外で使用することはできますか。市民プラザ内でも電気が使えれば良いと思います。
- 事務局： 橘処理センターで設置予定の太陽光発電は、蓄電池を持っていますので、災害時にもコンセントを用意すれば使用できるようになります。また、非常用発電機も回すことができるため、太陽光の40kwhだけではなく、非常用発電機や焼却の電気も回すことができるようになります。
- 市民委員： 相当な人数が来ると思われるので、その場合の対応はできますか。
- 事務局： 広域避難場所として利用できる計画となっています。電気の容量としては、一炉の発電で余剰分は回すことができますし、太陽光発電は昼間の蓄電があり、昼間の発電と夜の余剰電力を蓄電して、昼間に携帯電話の充電ができます。
- 市民委員： 蓄電の容量はどれくらいですか。
- 事務局： 40kwhです。
- 市民委員： 40kwhならどれくらいもちますか。
- 市民委員： 40kwを使用すると1時間、20kw使用すれば2時間もつ計算になります。
- 事務局： 非常用発電機が1600kwあります。スタートの時だけ使用し、安定燃焼するとタービンが起動します。そうすると大きな発電機が動き、十分な電力が発生します。
- 市民委員： それを市民プラザに供給することはできますか。
- 事務局： 橘処理センターの中だけの話として考えていただきたいです。
- 市民委員： 橘処理センターに人が入ってきては良くないのではないですか。

- 事務局：造成地盤上に広域避難場所をつくり、コンセントの準備を計画しているので活用していただければと思います。
- 市民委員：コンセントは何百個必要だと思います。
- 事務局：コンセントをいくつか用意しますので、テーブルタップ等を使用すれば増設は可能です。
- 市民委員：夜は真っ暗になりますか。
- 事務局：橘処理センター側の外灯がつきます。また、バスロータリーの入口まではつきます。
- 市民委員：橘処理センターに電気があるのであれば、行政同士で話し合っって融通を利かせてもよいと思います。融通性が必要になってくると思います。検討委員会はそのような意見です。
- 市民委員：完成イメージのことですが、南側から車が入れるようになるとの話を聞いたと思いますが、それはもうなくなったのですか。
- 事務局：南側につきましては、歩行者や自転車は入れますが、緊急車両以外の車は入れない計画になっています。車に関してはバリカー等で車両が入れない措置をしています。緊急車両が通行する際はバリカー等を取り外して入れるようになります。
- 市民委員：緊急車両が入るのはどの辺ですか。
- 事務局：西側の畑の横からも将来入れるようになります。
- 市民委員：住民の方から、市民プラザに入るのに車いすだと、階段があつて南側から入れなく、考慮していただけないかとの意見がありました。
- 事務局：車いすの方も、ほぼ平坦な形で普段使われるようなスロープの傾斜以内で市民プラザに行ける計画になっています。
- 市民委員：工事中は出入りできますか。
- 事務局：工事中は出入りできません。新しい橘処理センター建設後は、南面の細い道路から市民プラザへ入っていく動線は確保しております。
- 市民委員：高低差があるけど大丈夫ですか。
- 事務局：大丈夫です。バスの停留所の高さまで行けるようになります。一部、スロープを配置するようになります。
- 市民委員：川崎市福祉のまちづくり条例に沿った形で、車いすを使用するといった身体障害者の方に対して配慮した計画にしていきたいです。
- 市民委員：煙突についてですが、色彩選定手順は、川崎市民プラザに来た人しか投票できないのでしょうか。また、どういう広報でやるのか教えてください。
- 事務局：色彩投票についてですが、基本的には近隣住民を対象として、色彩を選んできたいと思います。投票所については、市民プラザ等で開設し、広報につきましては、インターネットや市政だよりを使って、投票場所を広くお示ししていこうと思います。
- 市民委員：市民プラザに来る人しか投票できないのですか。

事務局： 市民プラザの他に区役所、橘出張所を予定しています。

市民委員： 壁の材質は何ですか。

事務局： タイルを張るところもありますが、主に塗装となっております。

市民委員： リシンですか。

事務局： 吹付タイルとなっております。

市民委員： 投票だけだと、一般の人がその場所に行かなくてはならないので、意見が偏るのではないのでしょうか。投票がすべてとなるとリスクが出てくると思います。

事務局： 色彩計画につきましては、川崎市の景観計画でその地域にあった色彩が決まっています。その景観計画に沿った色彩で候補を上げさせていただき、住民の方に選んでもらう方法にしたいと思います。

市民委員： この地域の川崎市の景観計画に沿った色は何色ですか。

事務局： パースの色が目安になりまして、アースカラーを基本に選ぶと思います。

市民委員： パースに色を付けて煙突も含めて、選んでいくのですか。

事務局： はい、そうです。全体で色の色彩計画を決めていきたいと思います。

会長： 煙突と建物外壁で必ずしも同じではないということですか。

事務局： はい、そうです。

市民委員： 最終的には投票で決まるのですか。

事務局： 投票で決める予定です。検討協議会で3案を決めさせていただいてから、問題ないということを確認させていただいて、投票させていただきます。

行政委員： 一昨年の議題にて、インターネットで広く募集する予定だったが、煙突の色等は周辺の方々が気にすることなので、ピンポイントに高津区周辺の方々の意見を募集したいということで、投票といった形にさせていただいております。投票場所につきましては、案であり、今後検討協議会で伺っていきたいと考えています。来年以降に協議させていただければと思います。

市民委員： 川崎市民プラザには小人数しか来ないので、場所は検討すべきだと思います。

会長： 梶が谷駅はどうですか。

行政委員： 検討させていただきます。

市民委員： 煙突はシンボルになることから、目立たせた方が良いのではないのでしょうか。

行政委員： 目立たせた方が良い、目立たせない方が良いといった意見があります。参考までに王禅寺処理センターでは、クリーム色で目立たせた色ではありません。

市民委員： プラスチックごみの海洋汚染が問題になっていますが、プラスチックごみについて今までは海外に出していたと思います。現状はそれを拒絶されてきていて、今後は燃やすことになると思いますが、橘処理センターに搬入されますか。川崎市として対策はありますか。

行政委員： 橘処理センターは一般廃棄物を処理する施設となっておりますので、燃やしているのは基本的には家庭ごみになります。海外に出しているごみは主に産業廃棄物のため、川崎市としては法令に従い、基本的には処理することはないと思います。

ます。産業廃棄物を処理する民間の施設があるので、そちらで処理をするように国、川崎市では動いています。

市民委員： 現状で溜まる一方で処理をしなければならぬので、燃やすしかなくなります。そうすると、焼却場は限られているため、将来的には生ごみ以外も入ってくる可能性もあると思います。

行政委員： 産業廃棄物の方で滞留していることはニュースになっていますが川崎市内の事業者さんにアンケートを取った結果では、処理に困っている状況ではないようです。一方、産業廃棄物は広域的に処理することができるので、国の方でも、議論になることがあると思われませんが、処理施設を増設し、リサイクルをもっとできないかといった要請をしていると聞いております。状況を確認しながら、川崎市として適切な対応をしていけるようにと思います。選択肢を国の方と情報共有しながらやっていければと考えています。

市民委員： 完成してからの見学者について、小学生のバスも市民プラザに入ってくる道路を使うのでしょうか。

事務局： 市民プラザに上がってくるバス通りを使います。基本的に一般車両は、バス通りを上り、造成地盤上の駐車場を使う計画となっています。収集車は造成地盤下へ、バスを含めた一般車両は造成地盤上へ行くように車両動線を分けております。

市民委員： 一般車両が上ということは、用事がある方々も上の駐車場から行くということでしょうか。

行政委員： その通りです。駐車場の高さに事務所を用意します。

市民委員： ミックスペーパー処理施設は造成地盤の上になるのでしょうか。それとも駐車場よりも下になるのでしょうか。

行政委員： ミックスペーパーの処理は下になります。管理事務所の入口が2階にありますので見学者も含め、一般の人はバス利用者を含めそこから入ることになります。

会長： 見学者に関係することですが、橋リサイクルコミュニティセンターが、現在そのまま使われることになっています。今度の施設が出来た時にも、渡り廊下で繋がって一体化した建物として使われる予定でしょうか。

事務局： 令和5年に新橋処理センターがオープンするにあたって、環境局の中で橋リサイクルコミュニティセンターについて、検討し始めたところです。

市民委員： 以前緑被率の話があったと思います。緑被率を満たすために建屋や屋根に木を植えたり、いろいろな話があったと思いますが、それがパースに反映されていないのではないかと思います。

事務局： 緑被率25%を満たすために、今回は造成地盤を設置しました。屋上緑化と言うのは最後の手段という話を以前させて頂いております。現在の計画では、緑被率25%を達成しなければならないのですが、屋上緑化をしなくても緑被率25%を達成できる計画としております。

市民委員： クレームは来てないのでしょうか。

- 事務局： 連絡は頂いております。実際御迷惑をおかけしているのです、連絡を頂いた方には誠意をもって対応し、お話をさせて頂いております。
- 市民委員： 振動・騒音モニターで数値が出ていますが、数値以下だから我慢してくださいという訳にはいかないと思います。
- 事務局： 振動規制法や騒音規制法に基づいてやっておりますが、感じ方は人それぞれですので、クレームが来た時には現場の請負業者と話をして、もっと工法として数値を落とせる工法が無いか、時間をずらしながら出来ないか、ゆっくりやることはできないかなど協議しながら進めています。
- 市民委員： 今が一番うるさい時だと思います。
- 事務局： 音もそうですが、振動の方が大きな状況です。重機を動かしているオペレーターのテクニックもありますが、近隣住民の方があつての工事という事を認識して行うよう、請負業者を通じて指導しております。
- 会長： 誠心誠意対応して頂くことをお願いいたします。
- 事務局： それでも振動等が大きく、苦情が出てしまった際には、その度々に請負業者と話をして、対応させて頂ければと思います。
- 市民委員： 完成イメージの件ですが、新しく駐車場ができると思います。立体駐車場の台数より多くなるのでしょうか。
- 事務局： ほぼ同規模を確保するよう新しい駐車場では約70台平置を予定しております。
- 会長： その他に議題はありますか。次回について事務局の方でありますか。
- 事務局： 連絡事項があります。新しく出来る橘処理センターについて、廃棄物専門誌の「ウェイストマネジメント」という業界紙と、「都市と廃棄物」という冊子に取り上げられました。その中で、検討協議会も取り上げられているので紹介させて頂きます。

2 その他

次回検討協議会について

【概要】

令和2年度 第37回 住民との検討協議会の日程について事務局から説明がありました。

【発言要約】

事務局： 次回の予定ですが、来年度の8月から9月を予定したいと思います。内容としては外装、外壁色彩計画についてお話をさせて頂ければと思っております。

会長： それではこれで終了といたします。

—以上